

ハーマニー

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	22	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	3	
		1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	外出や行事を通して四季を感じ、楽しんで頂けるような計画立案、実行をしている。自分自身が入居したい、家族を入居させたいと思えるような施設を目標としている。	1	毎月、買い物ツアーやイベントを立案し、外出したり、施設行事を行ったりと実施している。
		2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	伝達ノートや口頭による申し送り、毎月の職員会議で、入居者様一人ひとりに対する接し方・注意事項・好み等を話し合い対応している。	1	入居者様の状況に応じた対応を実施し、必ず笑顔で返答が戻ってくるように心がけている。
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	夏祭りやクリスマス会などの行事を行い、ご家族様や地域の方々に参加していただいている。	1	毎月、音楽コンサートを実施し、参加して頂いている。
		2	地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	3	
		4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩などに出かける際、近所の方とすれ違う時には必ず挨拶をしている。畑で作業している時などは、近所の方から声を掛けてくださっている。	1	隣近所の方を招待してバーベキューなどの食事を開きたい。
	5	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会からの行事案内等により、行事や近隣の学校行事等、随時、参加している。	1	近郊の小学生の学習や中学生の体験学習など受け入れている。また、夏祭りの案内や協力依頼をお願いしている。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支 地 域 合 の い の	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	施設長や管理者が集まり、月2回会議を行っている。	1	地域の方を交えての勉強会を行って行きたい。
	3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)		自己評価5項目・外部評価4項目	5	
	3 理 念 を 実 践 す る た め の 制 度 の 理 解 と 活 用	7 外 部 評 価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価を元に取り組んでいる	1	勉強会を行ったり会議等へ市町村職員の方にも参加して頂けるよう協力を呼びかける。
		8 外 部 評 価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	推進会議時には必ず、家族への報告を行い、また入居者様・ご家族様・地域の代表者等からの質疑応答を通しサービスの向上、改善に努めている。出席者・欠席者には議事録等の資料を送付している。	1	今以上入居者へもっと家族が関わっていただけるよう行事等を工夫している。
		9 外 部 評 価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ご家族様が動ける日が土日が主なので、市町村職員に協力依頼しても無理だと断られる。	1	全てのご家族が参加していただけるように開催の工夫をして行きたい。
		10 外 部 評 価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護の勉強会を運営推進会議で実施。	1	今後も学び、話し合う機会を積極的に取り入れ、取り組んでいきたい。
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議の場で入居者個々への問題点や対応策を話し合っている。	1	勉強会等を定期的実施していきたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	5	
理念に基づく運営	理念を 実践 する ため の 体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	分からないことや、疑問点を伺い、説明、納得して頂いたうえで契約を行うようにしている。	1	問題点を残さないように、又、あった場合は即対応している。
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情箱の設置。また直接、不満苦情を伺った際はその都度対応している。	0	
		14 外部 評価 8	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回手紙として送付している。又、来所される度に報告している。緊急を要するときは電話連絡している。	1	行事の出欠を電話連絡で尋ね、その時にも報告している。
		15 外部 評価 9	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	2ヶ月に1回の推進会議にて機会を設け、反映させている。また、会議時以外にも意見等を伺った際にも検討し反映させている。	1	気軽に意見・要望等が言えるようにし、対応している。
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議で意見や提案を議題として上げ、改善・反映させている。	1	職員が住みやすい雰囲気作りにつなげられるように努力している。
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	勤務表作成前に希望休を聞いたり、推進会議や行事等に職員を増やしたりと工夫をし、職員会議等でも意見等を聞いたりしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に 基づく 運営	4 理念 ため の実 践制 す	18 外部 評価 10	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動や離職を必要最小限に抑えられるように、職員の話し合いの場を設けて不平不満を聞き、改善できるところは改善していくようにしている。やむを得ず離職した場合は利用者に不安を与えないよう他職員にて声掛け、フォローをしている。	1	職員にとっては働きやすい場、入居者様にとっては信頼できる職員、又、我々職員も是非入居したいと言えるような雰囲気作りをしていく。
		5 人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)			自己評価6項目・外部評価4項目	6
	5 人材 の育 成と 支 援	19 外部 評価 11	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	採用対象から排除しないように、必ず面接を実施している。	1	時々、法人代表者のみで面接を行うので、必ず現場の管理者も同席して面接をしていくように話し合っている。
		20 外部 評価 12	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	入居者様への対応時や会議の場で言葉遣いや対応の仕方を注意したり話し合ったりしている。	1	マナーの研修やその他の研修へ参加するよう声掛けをしていく。
		21 外部 評価 13	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員によるマンツーマンでの指導と研修ノートの活用による育成を実施。	1	育成をするための段階プランを今後作成し、実施していきたい。
		22 外部 評価 14	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修等への参加によりネットワークを開拓している。	1	職員全員が色々な研修に参加出来るように援助している。これからも今以上に参加していけるようにしていく。
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	各個人と定期的に話し合いの場を設けたり、会議後に食事会の場を設けたりしている。	1	悩みがすぐ解決できるような職場作りをもっと心掛けていく。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員への声掛けや会議の場での説明をしながら意思統一を図っている。	1	職員同士が、様子や常態を見ながら檄を飛ばしたりしている。
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	10	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)			自己評価4項目・外部評価1項目	4	
	1	25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居者様が不安なく共同生活ができるよう、思いや悩みを聞く事を行っている。	1	初回の来所時より時間をかけて対話し、信頼が得られるように努力している。
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談に来られた時は、傾聴しながら悩み問題の把握に努めている。	1	初回の来所時より、何を求められているのか素直に言えるように落ち着いた場所にて時間をかけて対話している。
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	色々なサービス利用の方法を説明し、選択肢が選べるようにしている。	1	様々なサービス事業所内容を理解していただけるように説明している。
		28 外部 評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	前もって体験入居していただき、他入居者様との関係や雰囲気慣れていただけるように努めている。また、職員もご家族様が不安にならないよう生活状況を話したり、話を伺ったりしながら対応している。	1	体験入居も2,3日でなく、1週間ほどして頂くことで、施設の雰囲気に馴染んでいただき、御家族にも納得して頂けるようにしていく。
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)			自己評価6項目・外部評価1項目	6	
係り2 継続 これ な ま ま の 支 援 開 く	29 外部 評価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者様と接する時間を多く作り、色々な話を伺ったり、何をすることも誘いし、一緒に楽しみながら作業をしたりしている。	1	入居者様の細かな変化も職員全員が把握できるように、いつまでも良い関係が維持できるように配慮している。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	日々の生活状況をご家族へ手紙や来館の際に伝え、改善点等を一緒に考えている。又、事前に行事予定を伝え、参加して頂けるように声掛け・電話連絡をしている。定期的に行事報告、現状報告も行っている。	1	季節の行事に参加出来るように配慮している。ご本人様とご家族様に楽しんで頂き、また安心できるようにしている。
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族様の来館時、入居者様がもてなす事ができるよう職員が間に入り支援している。又、行事等は、なるべくご家族様が参加しやすいような日程を選び、入居者様と楽しいひと時を過ごして頂けるように工夫している。	1	全てのご家族様が参加出来るように、計画等を配慮していきたい。
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方が来館された場合は、家族という立場になって過ごし易いような雰囲気作りと声掛けを行っている。	1	全職員で取り組んでいる。
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	職員が入居者間に入り、色々な作業やアクティビティに参加して頂くことで、皆が関われるように工夫している。	1	毎日楽しく過ごし、支えあえるように声掛けしたり、依頼したりと工夫している。
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	定期的到手紙、行事等の案内を送付している。	1	手紙、行事等の案内を送付している。
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	17	
1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)				自己評価 3項目・外部評価 1項目	3	
1	35	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様に対して担当者を決め、担当者が希望や要望を聞き、職員会議の場で提案して全職員が把握できるようにしたり、ご家族へ相談したりしながら試行錯誤している。	1	今以上に職員全員が入居者様のご希望に添えるよう工夫・努力していく。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の面接時や日々の暮らしの会話の中で情報を収集し、入居者様が楽しく生き生きと過ごせるように本人の意向に沿う環境づくりをしている。	1	今後も一人ひとりの生活環境を把握し、環境づくりに努めていきたい。
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	職員間による申し送りや伝達ノート活用にての記録・伝達の活用と、職員会議や推進会議での話し合いにて把握している。	1	今以上に職員全員がご家族様との連携と理解を深めて把握していきたい。
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	3		
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご家族様からのご意見を踏まえ、会議の場にてカンファレンスを行い、意見やアイデアが組み込まれるように工夫している。	1	今以上に職員全員が意見を出せるようにしていきたい。
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	見直し必要時、ご家族様に来館していただき、入居者様・ご家族様・職員との話し合いの場を設け希望や意見を出していただいている。	1	緊急を要する場合等での計画変更等ができるように工夫していきたい。
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員間による申し送りや伝達ノート活用にての記録・伝達の活用と、職員間での連携を取りながら実施している。	1	職員間同士で、連携しながらケアを行っている。
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	1		
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人の状態を把握しながら考慮し、対応できる範囲内での要望に応えている。	1	今後もできる限り応えていきたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいき たい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42～51・外部 21～22)	自己評価10項目・外部評価2項目	10	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアや近隣の保育園の慰問等は定期的に行っていた。また、消防署に避難訓練や消火訓練の指導をいただいている。	1	様々な機関と連携し、これからも協力して頂けるようにしていきたい。
		43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	入居者様やご家族の希望や意向を踏まえ、必要時、医療機関によるリハビリ、歯科往診等をお願いしている。	1	入居者様にとって、今以上のサービスが受けれるように支援していきたい。
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	権利擁護については市役所職員へ依頼し、年一回講義を行っていただいている。	1	地域包括支援センターと協働していけるようにしていきたい。
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎月定期的に訪問診療、緊急時は駆けつけて対応して頂いている。又、入居者様・ご家族様の希望するかかりつけ医に適切な医療を受けて頂くよう支援している。	1	本人・家族の希望される医師へ見て頂けるようにしている。
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	主治医等に相談しながら支援している。	1	今後も職員が認知症に対する理解を深める為、又、入居者様が適切な診断治療を受けられるよう、医師に相談していきたい。
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	バイタル測定や申し送り等を行い、看護職員と相談・連携しながら日常の健康管理・医療活用の支援をいっている。	1	入居者様の日々の健康管理に気をつけ、少しの異常や変化も見落とさないよう取り組んでいる。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	定期的に全職員が交代でお見舞いに行き、看護師から状態を確認・把握して退院した時に対応できるように努めている。	1	職員が情報を共有している。
		49 外部評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	職員会議にて入居者個々への問題点・対応策を話し合いながら家族や主治医への協力を仰いでいる。	1	今後に備えて準備をしている。
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	職員会議にて入居者個々への問題点を話し合いながら対応策を考えている。	1	今後に備えて準備をしている。
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	日頃よりご家族様とコミュニケーションを密に取り、情報交換できるようにしている。	1	ダメージが最小限で食い止められるように努めている。
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目	38	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	30	
		(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	3		
		52 外部評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報保護を厳守している。	1	言葉遣いや対応に注意している。
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	入居者一人ひとりに合わせ、自分で決定・納得して頂けるように支援している。	1	本人の理解に合わせた説明を行っている。		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様の希望に沿って一人ひとりを大切に支援している。	1	もっと入居者様のペースに合わせていく。
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	6	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	入居者様・ご家族様が希望される場合は、予約してお連れしている。	1	本人が希望されるようにしている。
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員も入居者様と同じメニューを会話しながら一緒に頂いている。又、一緒にできる範囲内で準備などのお手伝いをして頂いている。	1	定期的に給食会議の開催と、毎食時の検食簿の記入により、食事の質の向上に努めている。
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	買い物や外出時に本人希望の物を購入していただき、楽しんでもらえるようにしている。	1	買い物ツアー・訪問販売を定期的に行っている。
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄リズムをチェック表にして、全職員が把握して声掛け・誘導を定期的に行っている。	1	なるべく日中はオムツやりハビリパンツでなく布パンツで過ごして頂けるように支援している。
		59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本は毎日入浴日としており、気持ちよく入浴していただいている。	1	清潔を保つ為、体調に合わせて入浴していただいている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一日の生活リズムを作り、個人に合わせて昼寝を取り入れている。夜間覚醒が多い方には、日中の活動などを積極的に取り入れている。	1	本人の体調を把握した上で声掛け・誘導を行いながら支援している。
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	6	
		61 外部評価27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者様に合った作業や役割等をして頂き、少しでも張り合いや気分転換ができるようにしている。	1	趣味などを取り入れていくようにしている。
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	アクティビティにて買い物ツアーを取り入れ、支払いなど極力入居者様にして頂くようにしている。	1	買い物など計画して出掛けている。
		63 外部評価28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	月1、2回アクティビティにて買い物ツアーやドライブを取り入れている。また、外食ツアー等も実施し気分転換して頂いている。天気の良い日などは毎日散歩等している。	1	なるべく外気に触れて頂けるような時間を作って行きたい。
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	年に一回は旅行を計画し、家族と共に外出して楽しんで頂いている。	1	外出する機会をもっと設けて行きたい。
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は入居者様の希望時に、手紙は極力本人に書いていただけるように支援している。	1	季節の手紙など書いて頂いている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	面会の方がいつでも訪問して頂けるように心掛けている。	1	笑顔・声掛けなど、気軽に来て頂ける雰囲気作りを行っている。	
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	8	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員会議などで学び、身体拘束を行わないケアに取り組んでいる。	1	拘束は行わない方針で全職員理解して頂いている。	
		68 外部評価 29	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間以外施錠は行わない。	1	徘徊・帰宅願望の方には、常に把握・声掛け・見守りを行っている。	
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	プライバシーに配慮し、常に所在確認を徹底している。	1	安全・安心して過ごして頂けるように声掛け・見守りを行っている。	
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	配置と管理を徹底している。	1	会議にて話し合い、全職員が把握して対応できるようにしている。	
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	入居者様の状況・注意点をリスト化し、事故防止に努めている。	1	事故の予測・予防を常に把握し、防止に取り組んでいる。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでほしい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	消防署の救命救急の講習(AEDの使用・心肺蘇生法)を全職員が受けている。マニュアルを作成し、電話の近くに置いている。	1	勉強会を開き、看護スタッフに指導を受けている。
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回(うち1回は入居者様と一緒に)避難訓練をしている。夜間呼集訓練も実施している。	1	地域の方々も巻き込んで訓練ができるようにしていく。
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	運営推進会議時や面会時、電話連絡等で状況や対応を説明し、共通理解に努めている。	1	来館時等に常に声掛け、状況説明等を行っている
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	7	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日バイタルサインチェックをし、状況観察している。異常と思われる際には、かかりつけの医者に連絡を取り対応している。	1	日頃の体調を把握しているので、異変時は速やかに対応できている。
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	定期的に服用している薬状を記録用紙に添付しているため、誰が見ても確認できる。又、誤薬等がないようにする為、表を作成し、各人責任の所在を明らかにしている。	1	入居者様の服薬状況に合わせた対応を行っており、誤薬が無いよう職員間同士で確認して服薬介助するようにしている。
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄チェック表を活用し、水分摂取や腹部マッサージ等を行い、必要時には主治医と連絡を取り服薬管理を行っている。	1	チェック表を活用し、職員間同士伝達にて対応している。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアを実施しており、必要に応じて訪問歯科診療を導入している。	1	口腔ケアの徹底に努めている。	
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事内容・栄養面は栄養士が、量的な面(水分摂取量含む)は職員が(チェック表の活用)をしている。又、各個人の状態や能力に応じて、スプーン・フォークなど使用して、食べやすいように工夫している。	1	一人ひとりに状態を把握し対応している。	
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	うがい・手洗いの徹底をし、予防接種や面会者へのマスク着用の依頼。冬季には加湿器を使用して乾燥予防に努めている。	1	うがい・手洗いの徹底をし、予防接種や面会者へのマスク着用の依頼。冬季には加湿器を使用して乾燥予防に努めている。	
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	定期的に冷蔵庫内の整理整頓や手洗いの施行をし、清潔に保てるように心掛けている。	1	台所回りなど毎夜消毒している。	
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	8	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5項目・外部評価 2項目	5	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	明るく清潔に努め、出入りしやすいようにスロープにし、散歩時は元気に挨拶している。	1	季節ごとに飾り付けをし、外から見えるようにしている。	
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花や装飾をしたり、入居者様の作品を展示したりしている。	1	トイレ等、特に気をつけて掃除している。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでほしい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	座席やソファの位置の工夫をし、落ち着ついてくつろげるように心掛けしている。	1	気の合った入居者様同士が同じテーブルに座れるようにしたり、皆仲良く過ごせるように配置換えを行っている。	
		85 外部評価 33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様を使い慣れた物を持ってきて頂いたり、ご家族様やご家族様と一緒に写真を飾ったりと、毎日気分良く過ごして頂けるように清掃に気を使っている。	1	身体機能に合わせ活動しやすくしている。又、安全に自立した生活が送れるように配慮している。	
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	定期的な換気、温度調節を行っている。	1	定期的な換気、温度調節を行っている。	
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87～89)			自己評価3項目	3	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各入居者様の身体状況に合わせて他生活が送れるようにしている。	1	身体能力に合わせて行っている。	
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	入居者様に合わせた声掛け・ケアを行っている。	1	できる事を重視し、支援している。	
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	畑を作り、種まき・収穫・調理等を行っている。庭にも季節の花や球根を一緒に植えたり水撒き等を行っている。	1	季節感を味わっていただけるように努力している。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	2		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。